

公共施設

市民総合体育館や中央公民館の駐車場をさらに利用しやすく

常松大介議員(フオ) 駐車場の利用実態と改善の方向性に対する見解は。

教育長 中央公園利用者駐車場も中央公民館西側駐車場も利用に支障が生ずることは余りないが、前者は休日に講習会等の開催が重なるため満車となる。主催者に交通機関や乗り合いでの車の利用などをお願いしているが、今後は一般利用者へもお願いしていく。後者は周辺施設のイベント開催時には駐車場の利用に影響が出ることもあるため、主

催者と調整し対策を講じたい。なお、駐車場については、小平市公共施設の有効活用に関する方針に基づき有料化の検討も視野に入れ課題を整理したい。

中央公園駐車場



産業振興

小平の商店街の活性化について

川里春治議員(政和) ①光ヶ丘通り商店会が実施した100縁商店街の目的と結果は。

②商店街の活性化をどのように考えているか。

市長 ①店頭に数点の100円商品

100縁商店街のにぎわい(光ヶ丘通り商店街)



を並べて対面販売を行い、店内の通常商品の購買につなげて売り上げを伸ばすことを目的としている。当日は約3千人の人数があったと聞いている。

②商業の振興をまちづくりの重要な課題ととらえ、今後も新元気をさせ商店街事業、魅力ある商店街支援事業等の補助金を活用してもらい、商業団体等との連携を密にし、現状に合った支援策を検討したい。

小平商工会設立50周年記念等に寄せて

浅倉成樹議員(公明) 市が小平商工会、小平郵便局とタイアップして、市の自然、文化、産業、人物等をデザインした記念切手を発行し、市の特長をアピールすべきと考えるが見解は。

子どもへの人権侵害をなくすための仕組みが必要ではないか

岩本博子議員(生ネ) ①子どもへの人権侵害があった場合、どう対応しているか。

た例はあるか。

市長 ①平成22年度に市が実施した世論調査では、西部地域と中北部地域の市民が他地域の市民に比べ買い物に不便を感じているという結果が出ている。

②平成17年度に小平商工会が市の補助を受け、高齢者世帯等を対象に宅配サービス事業のニーズ調査を実施したが、要望が少なく実現には至らなかった。このほか、コミュニティバス、コミュニティタクシーの運行も施策の一つとしてとらえている。

虹川浩議員(公明) ①市内の買い物不便地域は。

②民間事業者等と連携し、買い物弱者のための施策を実施し

保育園待機児解消に向けた取り組みについて

滝口幸一議員(フオ) 待機児は平成22年度初めの時点で119人を数え、来年度も厳しい状況が続くと予想されるが、待機児解消に向けた取り組みは行っているのか。

市長 本年度は安心子ども基金を活用した私立保育園の建てかえにより定員拡充を進め、新たな幼稚園でのアットホーム事業を開始し、受け入れ枠の拡充を予定している。さらに作成中の公立保育園の運営のあり方に関する方針の素案では、民間事業者から認可保育園の新設等の提案があった場合、検討の対象としていくことも必要であるとしている。

子どもへの人権侵害をなくすための仕組みが必要ではないか

岩本博子議員(生ネ) ①子どもへの人権侵害があった場合、どう対応しているか。

建設のための公有地の活用など、市が積極的にイニシアチブをとるべきではないか。

市長 ①待機児児童の解消は喫緊の課題であるため、当面、民間事業者から提案があった場合には、施設の場所、規模、サービスの対象とすることが必要と判断した。

②必要に応じて検討する。

子育て世代の保育ニーズにこたえるために

日向美砂子議員(生ネ) ①上水本町・上水南町地域など保育園が不足する地域への対策は。

②保育の空白地帯解消のための小規模園新設や広域連携は。

市長 ①市内には18園の認可保育園が地域にバランスよく設置されている。今後も私立保育園の建てかえ等による定員拡充、幼稚園の認定こども園への移行促進、認定家庭福祉員の充実などサービス向上に努めたい。

②小規模園新設は1、2歳児の対応に有効だが、3歳以降の転園先の確保が課題である。広域連携は待機児童の課題は共通しており、市外の児童を預かることは年々難しくなっている。

安心して子育てができる小平の実現を

津本裕子議員(公明) ①保育ママの質を向上するための具体策は。

②保育園のアレルギー対策と危機管理マニュアルは。

市長 ①新規のいわゆる保育ママには最新の保育指針の情報提供や栄養管理の指導を行っている。また、全員に対して都や市

の研修へ参加を願うとともに保健師による巡回保健指導を行い、質の向上を図っている。

②公立保育園では食物アレルギー対応マニュアルに基づき、保護者の理解を得て対応している。万が一誤食した場合も対応マニュアルによりシミュレーションを実施している。

交通安全対策は歩行者の安全が第一という視点で

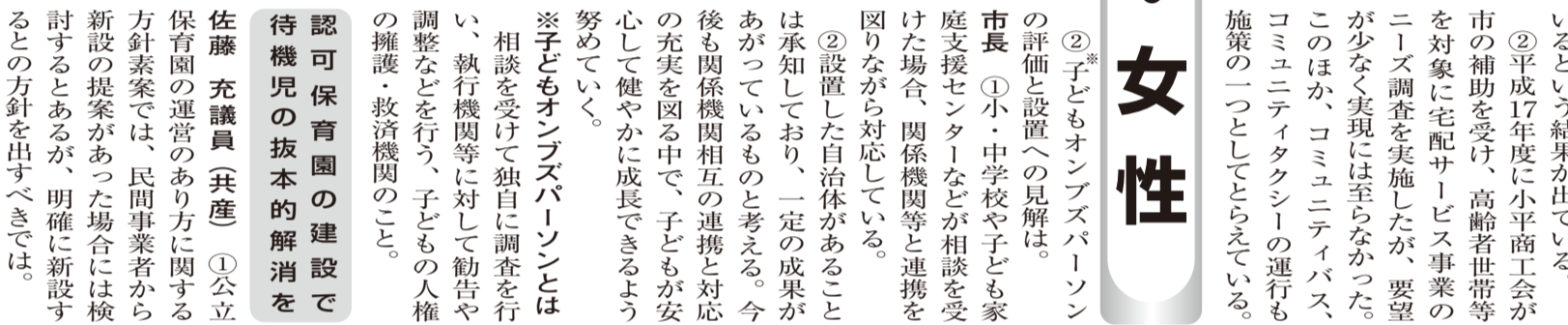
山岸真知子議員(公明) ①小平都市計画道路3・4・10号線から二中通りへ流れる車が増加しているが、対策は。

②たかの街道の歩道整備について、国分寺線の踏切から西側の計画は。

市長 ①3・4・10号線が富士見通りまで延長された場合、状況が変化する可能性があるため、交通管理者と十分協議して安全対策を講じていく。

②昨年度は国分寺線から東側の路面改修、歩道補修工事を行った。西側も改修が必要なので計画的に整備していく。

二中通り(小川東町一丁目)



後の取り組みは。

②八左衛門橋に横断歩道を設置すべきと思うが対策は。

③一橋学園駅南口駅前への信号機設置等、交通状況の改善への対策をどう考えているか。

市長 ①引き続き都市計画道路の整備による道路幅を都に要望していく。

②要望は受けていないが遊歩道の利用者も多いと認識しており、設置が可能などうかを含め交通管理者に要望したい。

③警視庁の現地調査で設置は不適當と判断されているが、引き続き要望していく。

小平駅周辺とあかしあ通りの整備計画について

虹川浩議員(公明) ①小平駅自転車駐車場北側壁面の小平市名所案内図が一部破れているが、今後の処置は。

②あかしあ通りのグリーンロード化等整備に合わせ、主要交差点に視覚障害者用音声信号機を新設するなど、バリアフリー化を進めるべきではないか。

市長 ①平成22年9月に補修したが、今後の活用については関連部署と検討していく。

②バリアフリー化の一環として音声信号機の設置が可能かどうか、今後交通管理者と協議することともに対応可能な対策の検討を行っていく。

桜橋交差点周辺及び一橋学園駅前の交通安全対策について

浅倉成樹議員(公明) ①西武多摩湖線の踏切と五日市街道の歩道の拡幅が必要と思うが、今

後はは考えていない。

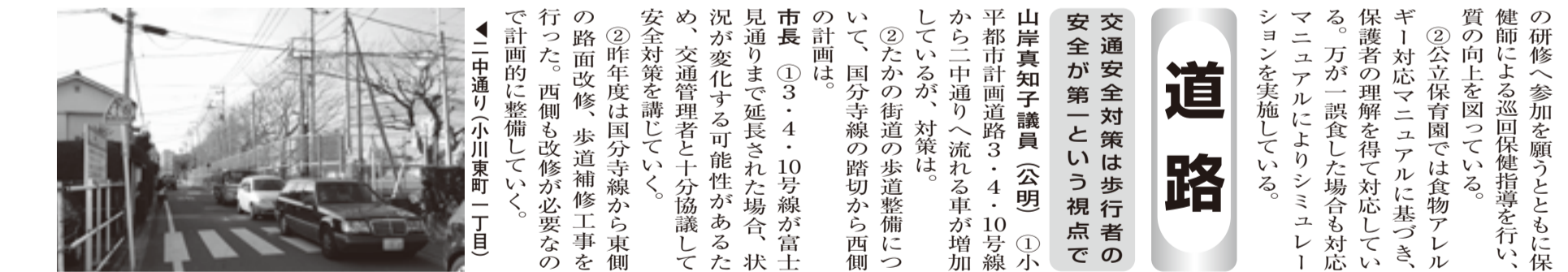
③市報やホームページのほか、妊娠届け出の際には保健師から直接周知したい。

医療健康

ヒトT細胞白血病ウイルス感染の悲劇をなくすため総合対策を

山岸真知子議員(公明) ①妊婦健診時のヒトT細胞白血病ウイルスI型抗体検査はいつから実施する予定か。

②一次検査だけでなく、再検査も助成できないか。



③抗体検査の周知方法は。

市長 ①妊婦健診の実施内容は都、区市町村、東京都医師会による検討会で協議することとなっているため結果を待つて対応したい。開始は都によると本年度内を目途に検討したいとのことであった。

②現在は考えていない。

③市報やホームページのほか、妊娠届け出の際には保健師から直接周知したい。

一般質問